



このリリースの新規情報および変更情報

この章は、次の項で構成されています。

- [このリリースの新規情報および変更情報, 1 ページ](#)

このリリースの新規情報および変更情報

次の表に、最新リリースに関するこのガイドでの重要な変更点の概要を示します。この表は、このマニュアルに加えられた変更やこのリリースの新しい機能をすべて網羅するものではありません。

機能	説明	参照先
VDC のコスト関連の情報を無効にするオプション。	<p>VDC を追加または変更するときに、ユーザインターフェイスの次のページからコスト関連の情報の表示を無効にすることができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [サービス リクエストの作成 (Create Service Request)] ウィザード • [VM のサイズ変更 (Resize VM)] ページ • [VM ディスクのサイズ変更 (Resize VM Disk)] ページ • [VM ディスクの作成 (Create VM Disk)] ページ • 電子メール通知 	仮想データセンターの追加
ReadyClones に対応するためにストレージポリシーを変更	ストレージポリシーは、VM またはテンプレートが HX データストアにある場合に ReadyClone 操作を組み込むように更新されました。	ストレージポリシーの追加と設定
すべてのユーザ ロールに導入可能性に関するアセスメントの許可権限を導入	<p>デフォルトでは、すべてのユーザロールに対してこの権限が有効になります。管理者は、システム内に設定されているユーザに対してこの権限を無効または有効にすることができます。</p> <p>あるユーザに対してこのオプションを無効にすると、そのユーザはカタログ上で導入可能性に関するアセスメントを実行できません。</p>	ユーザの役割および権限

機能	説明	参照先
以降のログイン時のクラシック ビューの起動をサポート	<p>管理者は、ユーザの以降のログインセッションで、クラシック ビューのユーザ インターフェイスを表示するようにシステムを設定できます。また、システム内の他のユーザにもクラシック ビューを起動するようにシステムを設定できます。</p> <p>以降のログイン時および他のユーザ向けにクラシック ビューを起動するようにシステムを設定する機能を使用できるのは、リリース 6.5 のみです。クラシック ビューは、後続のリリースで削除される予定です。</p>	管理者プロファイルの編集 ユーザの追加
VM のスタック ビュー レポートを変更	<p>このリリースで、VM のスタック ビュー レポートが次のように変更されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レポートに複数のコンポーネントがある場合、特定のコンポーネントの選択にドロップダウンリストが使用できます。 • レポートのコンポーネントの追加詳細情報を表示するように選択できます。 	スタック ビューオプションの使用
ReadyClones に対応するために [カタログの追加 (Add Catalog)] と [VM の複製 (Clone VM)] が変更されています。	<p>ReadyClone 操作を組み込むように [カタログの追加 (Add Catalog)] ページと [VM の複製 (Clone VM)] ページが更新されました。</p>	カタログの公開 VM の複製

機能	説明	参照先
VNC コンソール管理を強化	<p>VNC コンソールは、[VM クライアントの起動 (VM クライアントの起動)]アクションとは別に、[VNC コンソールの起動 (Launch VNC Console)]アクションを使用して起動できるようになりました。</p> <p>VNC コンソールの設定を自動的に解除するタスクを有効にできます。</p>	<p>VNC クライアントを使用した VM コンソールへのアクセス</p> <p>VM の VNC コンソールの自動設定解除</p>
VM 名とホスト名の一意性チェックを無効にする機能	<p>VM 名およびホスト名のチェックを無効にして名前の検証を行わないようにし、複数テナントかつ複数ドメインの環境で同じ VM 名およびホスト名を使用できるようにします。</p>	<p>システム ポリシーの設定</p>
Cisco UCS Central アカウントに対するベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの作成をサポート	<p>このリリース以降は、Cisco UCS Central アカウントにベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーを作成し、このポリシーにサービスリクエストを作成できます。</p>	<p>ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの設定</p> <p>カタログタイプを使用したサービスリクエストの作成：ベアメタル</p>

機能	説明	参照先
ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの設定を変更	<p>このリリースでは、次のような変更が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポリシーの範囲をサーバまたはサーバプールを含むように設定できます。 • サーバの設定にポリシーを使用している間は、ユーザが特定のサーバを選択できるようにすることができます。 • サーバに1つ以上のWindows OS イメージを選択できるようになりました。 • サーバのIPアドレスの割り当てに静的IPプールポリシーを使用できます。 • ベアメタルサーバのサーバホスト名の検証にホスト名検証ポリシーを使用できます。 	ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの設定
ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの検証をサポート	ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーを作成した後、そのポリシーをユーザインターフェイスから検証し、ポリシーに問題があるかどうかを判断できます。	ベアメタルサーバのプロビジョニングポリシーの検証

機能	説明	参照先
ベアメタルサーバのサービスリクエストの作成を変更	<p>ベアメタルサーバのサービスリクエストを作成する手順に次の変更が加えられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベアメタルサーバカタログを実行する必要があるサーバを選択する機能。 概算コストに関する情報が表示されます。 導入アセスメントに関する情報が使用できるようになりました。 	カタログタイプを使用したサービスリクエストの作成：ベアメタル
汎用アカウントおよびレガシーアカウントのクレデンシャルポリシー作成のサポート	<p>汎用アカウントにクレデンシャルポリシーを作成し、そのポリシーを新しい汎用クレデンシャルポリシーの取得のワークフロータスクに使用できます。</p> <p>サポートされているレガシーアカウントタイプのクレデンシャルポリシーを作成できます。</p>	クレデンシャルポリシーの設定
CDドライブまたはDVDドライブからのISOイメージのマウント解除機能	<p>仮想マシン上のCD/DVDドライブにすでに接続されているISOイメージのマウントを解除できます。</p>	CD/DVDドライブとしてのISOイメージのマウント解除
既存ライセンスの置換をサポート	<p>グラフィカルユーザーインターフェイスを使用して、既存のライセンスを置き換えることができます。さらに、システムでアクティブになっていないライセンスのリストを表示できます。</p>	ライセンスの交換 非アクティブライセンス情報の表示

機能	説明	参照先
ベアメタルサーバのプロビジョニングの電子メール通知をサポート	カタログを使用したベアメタルサーバのプロビジョニングのステータスに関する電子メール通知を受信するユーザの電子メール通知を設定できます。	ベアメタルサーバカタログの作成
アカウントのポリシー変更の動的更新をサポート	クレデンシャルポリシーを使用して作成したアカウントの場合、ポリシーに加えられた変更はアカウント上で動的に更新されます。	クレデンシャルポリシーの設定
ユーザの最近のログイン履歴の表示をサポート	[すべてのユーザのログイン履歴 (All Users Login History)] オプションを使用すると、システム内のすべてのユーザのログイン関連情報を確認できます。	ユーザの最近のログイン履歴の確認
ユーザのセッション管理機能を導入	管理者は、システム内の同時セッションの最大数を設定できます。	ユーザのセッション制限の設定
ダッシュボードにより機能を強化	[ダッシュボード (Dashboard)] オプションを有効にした後は、他のダッシュボードを追加したり、それらを削除することができます。	追加ダッシュボードの作成 ダッシュボードの削除
統合ビューを導入	ナビゲーションメニューの [統合 (Converged)] ビューを使用すると、サイトのグラフカルな表現、それらのサイト内のポッド、およびサイトの各ポッド内のアカウントを表示できます。	統合ビューの使用
カタログのテーブルビューを導入	デフォルトでは、カタログはタイルビューで表示されます。これをテーブルビューに切り替えるオプションが利用できるようになりました。	カタログ管理について

機能	説明	参照先
VMのプロビジョニング時にソケットあたりのコア数を設定する機能	ソケットあたりのコア数の許可値をコンピューティングポリシーで定義できます。 ソケットあたりのコアの数は、サービスリクエストの作成時、VMの導入時、VMのクローニング時、またはVMのプロビジョニング時にオーケストレーションワークフローを使用して設定できます。	コンピューティングポリシーの作成 標準カタログタイプを使用したサービスリクエストの作成 VMの複製
ユーザが使用できるようにするロールの指定をサポート	ユーザロールの追加時に、ロールの可用性を有効または無効にできます。	ユーザロールの追加
オブジェクト検索を導入	[オブジェクト検索 (Object Search)]機能を使用すると、特定の表形式レポートを[物理 (Physical)]メニューおよび[仮想 (Virtual)]メニューで、または[ワークフロー (Workflows)]画面および[カスタムタスク (Custom Tasks)]画面で検索できます。	オブジェクト検索の実行
システムブロードキャストメッセージにタイマーを追加する機能	管理者は、ユーザインターフェイスにログインしているすべてのユーザにブロードキャストメッセージを送信できます (タイマー付きまたはタイマーなし)。	ブロードキャストメッセージの送信